

地域ヒアリングでの意見要旨

新軽井沢エリア③

日 時：平成 31 年 1 月 18 日 11:00~12:00

場 所：軽井沢町役場

■地域の課題

- ・利害関係のある人全員が参加できるまちづくりの場が必要である。地元住民、移住者、別荘所有者、働いている人、事業者、土地所有者等が一同に集まらなければ話がまとまらない。
- ・まずは、軽井沢駅の改札を出たところに、旧軽井沢方面へ誘導するための効果的な案内板が必要である。

■将来像他

○将来像

- ・軽井沢は、日本の最上級の 4 シーズンズ・マウンテン・リゾートであり、冬でも人が集まる仕組みを作りたい。
- ・日本でも特級の医療や教育を整備したい。
- ・矢ヶ崎公園にバーベキュー施設があるとよい。

○その他

- ・長期滞在者を狙うべきではないか。観光客を 100 万人増やすのではなく、1,000~2,000 人の冬の長期滞在者で、リゾートに時間を掛けてくれる富裕層に来てもらいたい。
- ・駅前の大規模な改修工事等ではなく、まずはお金のかからない改善策を実施していくべきである。
- ・新軽井沢交差点付近等の渋滞については、回り道へ誘導するなどにより、PDCA（計画、実行、評価、改善のサイクル）を回して改善していけばよい。
- ・町の各エリア（東部、中部、西部、南部）の特徴を活かした政策が必要ではないか。エリア毎に、利害関係者が集まり、議論するとよい。
- ・国際親善文化観光都市に選定されている強みがある。